

第5回 技術士制度・試験講習会

－ 技術士試験への心構え・体験談 － 試験受験申込書、業務経歴票〔証明書〕への 心構え・体験談

2015年2月21日

於 東海大学 高輪キャンパス

技術士(原子力・放射線部門)

井上 明

1. 自己紹介

○業務経歴

- 1985年3月 : 原子核工学専攻修了
- 1985年4月～現在 : 原子力プラントメーカーに勤務
(うち4年間は外部に出向)
- LWR使用済燃料再処理プロセスに関わる研究開発及び設計
- FBR使用済燃料再処理システムに関わる設計及びその指導
- 使用済燃料再処理システムに関わる設計の指導 他

○受験履歴

- ・2010年度 : 技術士一次試験合格
- ・2012年度 : 技術士二次試験不合格
- ・2013年度 : 技術士二次試験合格

2. 受験申込み(第一次試験①)

○受験申込書の入手

- ・日本技術士会ホームページから、**受験申込書様式及び「受験申込み案内」**等をダウンロード可能。もしくは日本技術士会にて入手可能、郵送による請求可能。

○受験申込書受付期間

- ・〔平成27年度〕 6月16日(火)～7月1日(水)
(申込書の配布は6月1日(月)～7月1日(水))
- ・原則郵送、書留(簡易書留)
- ・受験手数料は現金不可。所定の納付手続きが必要。
- ・申込用紙の記載事項や添付書類に不備がある場合、受付期間内に補正を完了する必要有。

○受験資格

- ・年齢・学歴・国籍・業務経歴等による制限無し

2. 受験申込み(第一次試験②)

○受験申込書(サンプル)

○受験申込み時に提出する書類

- ・受験申込書
- ・写真
- ・受験手数料払込受付証明書
- ・試験の一部免除に係る書類
(該当者のみ)

○技術部門の選定

- ・20の技術部門
- 20.原子力・放射線

(日本技術士会HP/試験・登録情報(H26年度)より)

印刷の際は必ず右のボタンから印刷をしてください
※赤字は印刷されません。

印刷

技術士第一次試験受験申込書

文部科学大臣指定試験機関 公益社団法人 日本技術士会会長 殿
下記により、技術士第一次試験を受験したいので、申し込みます。 年 月 日

(フリガナ) 氏 名	(男口・女口)	受 験 地	
生 年 月 日	年 月 日 生	技 術 部 門	
本 籍 地	都道府県 コード		
現 住 所	〒 都道府県 コード	試験の一部免除 を受ける者は、 右のいずれかの 該当する口に✓ を付すこと。	<input type="checkbox"/> 基礎科目及び専門科目を 免除 <input type="checkbox"/> 基礎科目を免除
勤務先又は 在学中の学校	勤務先名又は学校名 支店・部課名又は学部学科名 電話番号	最 終 学 歴	学校名 学部学科名
	電話番号	最終学歴 コード	卒業(修了)年月 年 月

試験の一部免除を受ける場合には、下記の該当する口のいずれかに✓を付し、必要事項を記入すること。

技術士第二次試験合格証番号又は技術士登録番号	合格年月又は登録年月日	技術部門
<input type="checkbox"/> 合格証番号 第 号	年 月	
<input type="checkbox"/> 登録番号 第 号	年 月 日	

※ 整理番号

備考 1 ※印刷には、記入しないこと。
2 氏名の欄中()内は、該当する口に✓を付すこと。
3 指定試験機関に申し込む場合には、所定の手続により
受験手数料を納付し、払込受付証明書を貼ること。
4 用紙の大きさは、日本工業規格 JIS とすること。

年 月 日撮影

写真貼付欄

第一次試験の申込前6
箇月以内に半身脱帽で
撮った縦4.5センチメ
ートル、横3.5センチ
メートルの写真で本人
と確認できるものを貼
ること。

受験手数料払込受付証明書貼付欄

3. 受験申込み(第二次試験①)

○受験申込書の入手(第一次試験と同じ)

- 日本技術士会ホームページから、**受験申込書様式及び「受験申込み案内」**等をダウンロード可能。もしくは日本技術士会にて入手可能、郵送による請求可能。

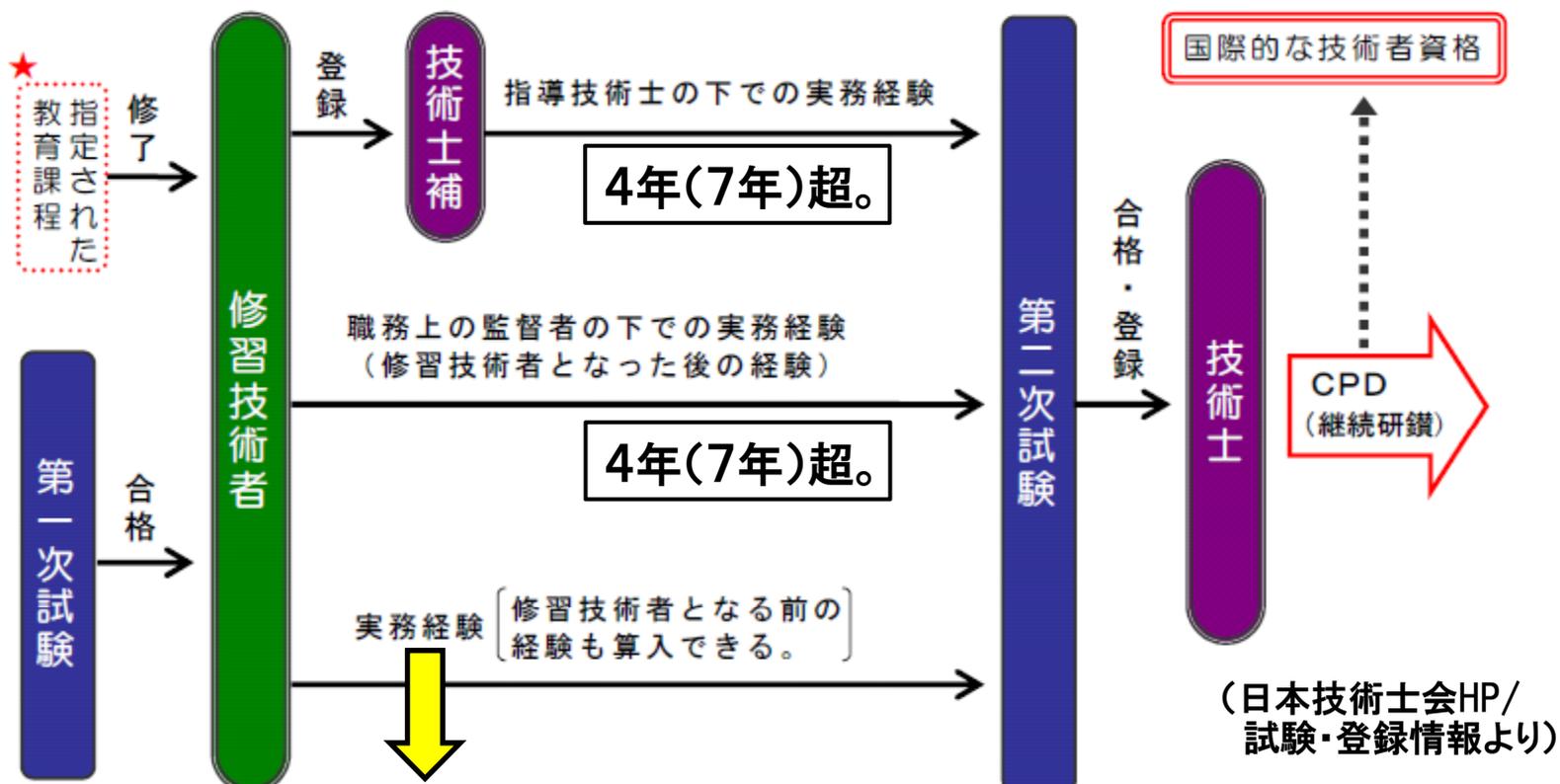
○受験申込書受付期間

- [平成27年度] 4月6日(月)～4月27日(月)
(申込書の配布は4月1日(水)～4月27日(月))
- 原則郵送、書留(簡易書留)
- 受験手数料は現金不可。所定の納付手続きが必要。
- 申込用紙の記載事項や添付書類に不備がある場合、受付期間内に補正を完了する必要有。

3. 受験申込み(第二次試験②)

○受験資格

[技術士試験の仕組み]



例えば、修習技術者で実務経験7年(10年)超。
修習技術者となる前の経験も含められる。
大学院での研究経歴も最大2年含められる。
()内は総合技術監理部門の場合

3. 受験申込み(第二次試験③)

○受験資格(続)

1) 技術士補となる資格〔次のうちいずれか〕を有していること

- * 技術士第一次試験に合格
- * 指定された教育課程〔5頁参照〕を修了



2) 次の①～③のうち、いずれかの業務経験を有していること

- 【A】総合技術監理部門を除く技術部門を受験する場合
- 【B】総合技術監理部門を受験する場合

① 技術士補に登録して以降、技術士補として次の期間技術士を補助している。

- 【A】4年を超える期間
- 【B】7年を超える期間

② 技術士補となる資格を有した日^{*1}以降、監督者の指導^{*3}の下で、
科学技術に関する業務^{*2}について、次の期間従事している。

- 【A】4年を超える期間
- 【B】7年を超える期間

③ 科学技術に関する業務^{*2}について、次の期間従事している。

⇒ ③は、技術士補となる資格を有した日^{*1}以前の期間も算入できる。
また、指導者や監督者の有無・要件を問わない。

- 【A】7年を超える期間
- 【B】10年を超える期間（二次試験合格者は、7年を超える期間）

①～③のすべての業務経験の期間に大学院における研究経歴の期間（2年間を限度）
を減じることができます。（次頁参照）

①と②の業務経験は、相互に合算することができます。

（日本技術士会HP/
試験・登録情報より）

3. 受験申込み(第二次試験④)

○受験申込書(サンプル1枚目)

○ダウンロードの場合、
両面印刷不可

○受験申込み時に提出する書類

- 受験申込書
- 業務経歴票
- 写真
- 受験手数料払込受付証明書
- 技術士補となる資格を有することを証明する書類

— 第一次試験合格証 等

○技術部門/選択科目の選定

- 20-1 原子炉システムの設計及び建設
- 20-2 原子炉システムの運転及び保守
- 20-3 核燃料サイクルの技術
- 20-4 放射線利用
- 20-5 放射線防護

(日本技術士会HP/試験・登録情報(H26年度)より)

入要領(1) 受験申込書 【記載例: 4頁(2)③の受験資格】

印刷の際は必ず右のボタンから印刷をしてください
※PDF印刷されます。

印刷

技術士第二次試験受験申込書 提出日を記入

文部科学大臣指定試験機関 公益社団法人 日本技術士会会長 殿
下記により、技術士第二次試験を受験したいので、申し込みます。 平成 26年 4月 14日

(フリガナ) トウジト	受験地 B 東京都
氏名 田野 浩人 (男・女口)	技術部門 17 応用理学部門
生年月日 昭和 41年 7月 15日生	選択科目 03 地質
本籍地 三重県 郵便番号 24	専門とする事項 土木地質
現住所 〒152-0034 東京都目黒区緑が丘7丁目7番7号	総合技術監理部門の受験を申し込む事で、右のいずれかに該当する場合は口を付すこと 他の技術部門と併願 <input type="checkbox"/> 選択科目が免除 <input type="checkbox"/>
電話番号 090-1234-5678	最終学歴 伊勢大学大学院
勤務先 株式会社IPEJ地質	学歴学科名 理工学研究科 構造地質学専攻
電話番号 03-3459-1333	卒業修了年月 平成 3年 3月

下記の該当する口に✓を付し、必要事項を記入すること。

<input checked="" type="checkbox"/> 技術士第一次試験合格証番号及び合格年月 第 777777 号 平成 16年 1月
<input type="checkbox"/> 技術士補登録番号及び登録年月 第 号 年 月 日
<input type="checkbox"/> 技術士法第三十一条の二第二項の規定により文部科学大臣が指定した大学その他の教育機関における課程及び当該課程の修了年月
学校名 課程 年 月
学校コード 課程コード

総合技術監理部門の選択科目の免除を受ける場合には、下記の該当する口のいずれかに✓を付し、必要事項を記入すること。

<input type="checkbox"/> 合格証番号 第 号 合格年月又は登録年月 年 月 合格した技術部門
<input type="checkbox"/> 登録番号 第 号 年 月 日

※ 記入しない

備考1 ※印刷には、記入しないこと。
2 氏名の欄()内は、該当する口に✓を付すこと。
3 指定試験機関に申し込みの場合には、所定の半額により受験手数料を納付し、申込受付期間中は変更不可。
4 用紙の大きさは、日本工業規格 A4とする。

平成 26年 4月 13日撮影

⑥ 

受験手数料 14,000円(非課税)
(払込手数料は、払込人負担です。)

受験手数料の納付方法は、
34頁を参照して下さい。

受験手数料の払込み内容が確認できる
受領証等を貼り付けて下さい。
受領証等が貼付欄に納まらない場合、
貼り付けはせず、受験申込書等と一緒に
同封して提出して下さい。

⑦

“総合技術監理部門”を申し込む場合のみ記入する項目; 33頁へ

3. 受験申込み(第二次試験⑤)

○受験申込書(サンプル2枚目)

○業務経歴票[証明書]

- ・4~5業務(行)を記載。(業務経験の広さ)
- ・各業務内容は技術士に相応しい経験であることを、「~の計画」、「~の研究」、「~の設計」「~の指導」等の語句により表現。
- ・「業務の詳細」を記載した以外の業務についても、口頭試験において業務の詳細を問われる可能性を踏まえて、記載する業務項目を選定する。

余裕をもって

○業務内容の詳細

- ・平成24年度試験までの「技術体験論文」(3000字、筆記試験合格後執筆)の代替であり、**口頭試験におけるメインの審査対象**のため、最も技術士として相応しい業務を選択して詳細を記載(720字)する。
- ・「立場と役割」⇒「業務上の課題」⇒「技術的な提案」⇒「技術的成果」といった流れで記載するのがよい。
- ・制限字数(720字)を余すことのないように。
- ・誤字、脱字は論外。

記入要領(2) 業務経歴票 [証明書]

【記載例：4頁(2)③の受験資格】

① 氏名 寅野 哲人 ※ 整理番号 記入しない

業務経歴票 [証明書]

大学院における研究経歴/勤務先における業務経歴

大学院名	課程(専攻まで)	研究内容	在学期間	
			年・月～年・月	年・月数
伊勢大学大学院	理工学研究科 修士課程 構造地質学専攻	ジュラ記付加体(美濃丹波帯)の構造地質学的研究	平成26年4月 ～平成28年3月	2 0
勤務先(所属まで)	所在地(都道府県まで)	地位・職名	従事期間	
			年・月～年・月	年・月数
㈱日本地質技術 中部支社 調査課	愛知県 名古屋市	技術員	平成26年4月 ～平成28年3月	3 0
～社名変更～ ㈱IPEJ地質 中部支社 調査課	同上	同上	平成28年4月 ～平成29年3月	3 0
同上	同上	主任 技術員	平成29年4月 ～平成31年3月	6 6
㈱IPEJ地質 地質部 調査課	東京都 港区	課長	平成31年10月 ～平成32年9月	3 6
同上	同上	同上	平成32年10月 ～平成33年9月	7 0
合計			25 0	0

※業務経歴の中から、下記「業務内容の詳細」に記載するもの1つを選び、「詳細」欄に○を付けて下さい。

上記のとおり相違ないことを証明する。 平成 26年 4月 14日

事務所名 株式会社IPEJ地質
証明者役職 代表取締役社長
証明者氏名 田中 山八

業務内容の詳細

当該業務での立場、役割、成果等

業務経歴票
※ 別紙に作成した経歴票の提出及び切り貼りした経歴票の提出は無効

業務内容の詳細
記入例は、25頁～26頁参照。

4. おわりに

- 長丁場となるので、コツコツと計画立てて、気長に。
- 受験申込み手続きは余裕をもって。
(二次試験の業務経歴の証明等)
- 二次試験の業務経歴は、口頭試験に直結するので、慎重かつ丁寧に。
- 技術士受験は、技術者としてどうあるべきか、自分を見つめなおす良いチャンス。